

# 第21期事業計画書

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

1. 事業方針
2. 営業計画
3. 予算計画書

## 1. 事業方針

当社は、八尾市の「八尾市放置自転車の防止に関する条例」に基づく各種施策を推進するため、平成9年3月に八尾市の第三セクターとして設立されました。市内の主要駅周辺に設置する自転車駐車場の管理運営に当たり、設立以来19年間順調に業績の拡大を図ってきたところであります。

引き続き、「放置自転車の防止」「自転車利用者のマナー向上」を図り、八尾市総合計画に掲げる「誰もが安全で安心して住み続けられる八尾」のまちづくりに貢献してまいります。

景気は全体として、主に供給面で弱めの動きが続くも、総じて踊り場の様相にあります。需要面は総じて横ばいではありますが、一般消費は個人消費がやや持ち直しつつあります。

供給面は弱めの動きながらも下げ止まり傾向にあり、商業系では小売が堅調ながら卸売でやや低調、サービス業系は下げ止まりつつあるも弱含みで、工業系は下げ止まりといった状況にあります。

一方、雇用面は総じて堅調で、大阪府の有効求人倍率がバブル期以来の水準にあるものの、失業率に増加傾向が現れてきました。

次期の景況は、需要面では、個人消費は緩やかに回復しているものの、その動きがいつそう緩やかになるとみられます。インバウンドと言われる外国人旅行者の急激な増加に伴う特定分野での需要増があるものの非常に地域的なばらつきがある見込みです。供給面では、生産活動は若干低下していく傾向が見えています。

景気の動向と共に、人口の減少と少子高齢化の進行は当社の経営に与える重要な要因となっていますが、今後も環境変化に適切に対処するために、利用者の声を謙虚に受け止め、地域に根ざしたきめ細かなサービスに努めるとともに、自転車駐車場の管理業務において引き続き、地域高齢者の就労の場を提供してまいります。

また、今後も経費の節減等に鋭意取り組みながら、健全で安定した経営基盤の強化確立に努めてまいります。

## 2. 営業計画

### (1) 自転車駐車場の円滑な経営について

当社では、現在市内主要9駅周辺で12ヵ所23施設を管理運営し、八尾市の放置自転車対策の推進に貢献しております。

自転車利用者がいつでも安全で安心してご利用いただくために、利用者のニーズをきめ細かく把握し、お応えできるよう、施設への巡回指導を継続してまいりますとともに、施設の公共性を十分認識し、施設の改修・改善を図りLED照明や防犯カメラの設置等にも計画的に取り組んでいるところです。

また、自転車駐車場不足による待機者の解消と、利用者の増加による収益の増大を図るため、施設の改良や新たな自転車駐車場用地の確保をめざしてまいります。

今後も引き続き、各自転車駐車場の管理運営については、経費節減に努めるとともに施設の効率的な活用等を図りながら、業績の向上に努めてまいります。

### (2) レンタサイクル事業の運営について

都市型レンタサイクル事業は、平成18年4月に八尾市から移管を受け、9ヵ所の自転車駐車場において運営しております。

レンタサイクルは、利用者にとって手軽で利便性が高く、駅からの通勤や営業、市内史跡等への移動手段として市民に定着されてきており、引き続きレンタサイクル利用の積極的な情報発信に努めてまいります。

また、4月から施行されます「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の点検整備や自転車損害賠償保険への加入を行うなど、適正に管理し安全で安心して利用していただけるよう努めてまいります。